

# 日本海国土軸の形成に資する日本海側拠点港「京都舞鶴港」等の機能強化について

【担当省庁：国土交通省】

## 1 港湾・海岸保全施設整備財源の確保

港湾・海岸整備に関する財源は、必要事業費に対して内示額が大きく下回っている状況が続いており、計画的な施設整備及び維持管理を推進するため、補正予算及び平成31年度当初予算において、**補助事業、社会資本整備総合交付金、防災・安全交付金等の必要な予算を十分確保**いただくとともに、**消費税率引上げに伴う臨時・特別の措置として行われる公共事業費については、別枠かつ純増となるよう、必要な予算を十分確保**いただきたい。

## 2 地方創生の拠点となるコンテナ・フェリー・クルーズ機能の更なる強化

京都舞鶴港について、**以下の強化を図って**いただきたい。

【舞鶴国際ふ頭：国際海上コンテナ機能の強化（起債事業、直轄事業）】

- 舞鶴国際ふ頭では取扱量が急増しており、受入能力の限界に近づいている状況。国際海上コンテナ機能の強化のため、**舞鶴国際ふ頭第Ⅱ期整備の事業化、整備促進が必要**であり、次の支援をお願いしたい。

- 和田地区国際物流ターミナル事業で事業中の臨港道路（上安久線 全体事業費約79億円）の促進及び当該工事発生残土の第Ⅱ期整備への活用（直轄事業）

- **荷役機械（トランスファークレーン）導入に必要な予算確保**（起債事業）（平成31年度必要額約2億円）

- 平成29年10月に供用した岸壁（-14m）整備に引き続き、

**2バース目の早期着手**（直轄事業）

【前島ふ頭：国際フェリー機能の強化（直轄事業）】

- 国際フェリー機能の強化のため、**前島ふ頭岸壁の国際フェリー運航に資する改良工事について、事業着手（調査・設計等）**をお願いしたい。

京都府の担当課	商工労働観光部 経済交流課 (075-414-4844) 商工労働観光部・建設交通部 港湾局 港湾企画課 (0773-75-0192)
---------	--

### ■社会資本整備総合交付金及び防災・安全交付金の内示状況

▶ 内示額が所要額を大きく下回る状況

	所要額 (百万円)	内示額 (百万円)	内示率	内示との差 (百万円)
H27	225	119	53%	▲ 106
H28	155	118	76%	▲ 38
H29	278	131	47%	▲ 147
H30	271	112	41%	▲ 159
H31	256	—	—	—

※府管理施設：京都舞鶴港、宮津港、久美浜港、伏見港における港湾施設及び当該港湾区域等における海岸保全施設

### ■概算要求【国土交通省】

▶ 港湾整備事業 3,117億円（平成30年度予算2,492億円）

▶ 国際クルーズ旅客受入機能高度化事業 21億円（平成30年度予算21億円）

### ■機能強化の方向性

	要望箇所・内容
舞鶴国際ふ頭	▶ 国直轄で整備中の舞鶴国際ふ頭への臨港道路（上安久線）の早期完成 ▶ 臨港道路上安久線の工事発生残土を舞鶴国際ふ頭の第Ⅱ期整備（埋立て）として活用 ▶ 起債事業で実施予定の荷役機械（トランスファークレーン）導入に必要な予算措置 ▶ 舞鶴国際ふ頭第2バース目の早期着手
前島ふ頭	▶ 前島ふ頭の3号岸壁の老朽化対策に併せた国際フェリー就航に資する改良工事を国直轄事業により着手 ▶ 日中韓間のシャース相互通行（車体規格統一）の実施
第2ふ頭	▶ 直轄事業で整備中の第2ふ頭3・4号岸壁予防保全工事の早期完成 ▶ 第2ふ頭旅客ターミナル整備に資する国際クルーズ旅客受入機能高度化事業の予算措置

### ■京都舞鶴港のクルーズ・コンテナ・貨物取扱量は大幅に増加

年度	24	25	26	27	28	29	
クルーズ船寄港回数(回)	3	7	15	8	17	39	
コンテナ取扱量 (TEU)	合計	5,902	6,906	9,082	8,620	11,493	13,402
	輸出	(8,706)	(9,133)	(11,985)	(11,703)	(14,826)	(19,272)
	輸入	1,933	2,768	3,553	3,471	4,901	5,561
		(4,501)	(4,602)	(5,900)	(5,963)	(7,338)	(9,753)
貨物取扱量 (千トン)	合計	11,998	11,081	10,752	11,039	10,829	11,611
	内貨	6,642	6,378	6,168	6,226	6,129	6,311
	外貨	5,356	4,703	4,584	4,813	4,700	5,300

\* ( )は空コンテナ含む

- ▶ クルーズ船寄港は平成30年度約23回を予定
- ▶ 平成29年度のコンテナ取扱量は平成24年度の約2倍（平成29年度/平成24年度=227%）
- ▶ 貨物取扱量は平成22年度から8年連続で10,000千トン超え
- ▶ 舞鶴国際ふ頭におけるコンテナ取扱可能量：17,000TEU(空コン込21,000TEU)  
近年のコンテナ貨物の増加に加え、綾部工業団地内の食品加工工場増床に伴う新規貨物の増加が見込まれ、受入能力の限界に近付いている状況

【第2ふ頭：外航クルーズ機能の強化（補助事業）】

- 外航クルーズ機能の強化のため、国際クルーズ旅客受入機能高度化事業（平成29年度新規事業）にて事業中の**第2ふ頭旅客ターミナル整備**について、**必要な予算（平成31年度必要額約1.4億円）を十分確保**いただきたい。

■臨港道路上安久線 事業の概要

全体事業費 約79.4億円  
 本年度までの事業内容 地元調整、地形測量、土質調査、物件調査、用地買収  
 平成31年度の事業内容 橋梁詳細設計、埋文調査、用地買収 等  
 工期 平成19年度～30年代半ば

	～29年度	30年度	31年度	32年度～
主な事業内容	地元調整 測量調査	物件調査 土質調査 用地買収	橋梁詳細設計 埋文調査 用地買収	道路工事 土砂処分